

写真



＼石見銀山遺跡と学びのバリアフリー（福祉系列）／

6月17日（木）

今年度、福祉系列の生徒が石見銀山資料館との連携で、「石見銀山遺跡と学びのバリアフリー」の体験学習を行うことになりました。

大森町の熊谷家で、視覚障がい者の方にどのようにガイドをしたら良いか実際に体験し、触れる地図の作成や音声案内原稿の作成を行い、筑波大学の宮坂先生と明治大学の半田先生の指導を受けることになっています。

本日は、その体験学習の事前研修で、石見銀山資料館 仲野館長の講話をお聞きしました。「なぜ、石見銀山を学ぶのか？」それは、『世界遺産だからこそ学べる「学び」があるから』、から始まり、石見銀山の歴史において、世界とつながったこと、そして世界観が変化したことを分かりやすくお話いただき、最後に、石見銀山が誰もが学べる環境にあるのか？と今回の体験学習の導入に繋げていただきました。

福祉系列の生徒たちは真剣に拝聴し、7月6日に予定されている熊谷家での体験学習に備えることができました。

こうした活動を契機に、石見銀山が誰もが訪れ学ぶことのできる、バリアフリー化されると良いなと感じました。